



高口やすひこ通信



立川市議会議員 高口靖彦
 電話・FAX 534-0267 柏町在住
 E-mail: takaguchi@komei-tachikawa.com
<http://www.komei-tachikawa.com/takaguchi>
 LINE ツイッター フェースブック アメブロ



平成という時代に別れを告げ、新しい「令和」の時代が始まります。様々な想いに、期待に胸を膨らませる方も多いのではないのでしょうか。

私自身、小中高そして学生時代を昭和に生き、社会人、市議会議員となつてから今日まで平成を生き抜いてきました。悩みや苦しの連続だったように思いますが、過ぎ去ってみれば、これらの経験が自身の成長の糧となっていることを実感します。そして本当に多くの方に支えられながらここまで来たことを思うとき、感謝の想いでいっぱいになります。

「令和」の時代も、きっと様々なことがあるでしょう。私は、これまで支えてくださったすべての皆様の恩に報いるため、公明党の議員として、「**小さな声を聴く力**」を存分に発揮し、これまで以上により良い社会の建設を目指して、全力で働いて参ります。



【平成31年第1回立川市議会定例会】

平成31年第1回定例会が2月22日から3月22日までの会期で開催されました。初日に市長から、31年度予算について、市財政を取り巻く状況、新たに行う施策などの説明がありました。一般会計の予算額は754億9千万円で、前年度に比較して1.8%増となり、2年連続で過去最大の予算規模となりました。私は2月27日の本会議で、会派を代表して、清水市長の平成31年度予算説明に対し、多岐にわたり代表質問を行い、市長の考えと今後の取り組みをたずねました。

その後、3月12日から始まった予算特別委員会で、31年度予算について集中審議を行い、採決の結果、賛成多数で可決、その他の予算案も全て原案の通り可決しました。本予算で、私たち公明党が推進してきた学校のトイレ改修工事、特別教室空調機設置は、ほぼ完了します。

私の代表質問の主な質問内容



★平成 31 年度予算編成について

- ◆主張 32 年度から始まる第 4 次長期総合計画の後期基本計画への道筋は。
- <答弁> 少子高齢化の進展と人口減は避けて通れない未来であり、未来をも見据えた取り組みも喫緊の課題。行政だけではなく、地域、団体などあらゆる主体との連携を深めつつ、持続可能な行財政運営を継続していく。(市長)
- ◆主張 予算編成にあたり市民との協働を基本とするとのことだが、配慮されたこと、気をつけたこととはどのようなことか。
- <答弁> 立川市自治会等応援する条例の制定にあわせ、自治会等への具体的な新規支援策を実施する。地域の声をお聞きするとともに、市政に関する情報を積極的に発信し、お互いの立場を理解し、適切に役割分担しながら市民協働に取り組んでいく。(市長)

★学童保育待機児童解消について

- ◆主張 学童保育待機児童解消への目途はついたのか。放課後子ども教室との連携や地域における民間サービスの活用など、積極的に取り組むべき。
- <答弁> 現在二次判定を行っているが、入所申請者数が昨年より増加しており、昨年度より増加する見込み。放課後ルームやサマー学童、放課後子ども総合プランで示される学童保育所と放課後子ども教室の一体化による実施などを検討し、待機児童の解消に努めたい。(子ども家庭部長)

★地域包括ケアシステムについて

- ◆主張 地域包括ケアシステムの構築、特に在宅医療、在宅緩和ケア、その人らしい最後の看取りが大切なことと思うが、どのように進めていくのか。
- <答弁> 人生 100 年時代の考え方により、高齢者を含む働き方改革など、高齢になっても生き生きと地域で生活できる体制の構築を進めている。31 年度は、人生の最終段階において医療と介護による支援が本人の望むものとなるよう、本人及び家族を対象とした看取り支援事業を実施する。(市長)

★基幹系システム構築運用事業について

- ◆主張 三鷹市、日野市との住民情報系システムの自治体クラウドによる共同利用に向けた取り組みについて、今後どのように進めていくのか。
- <答弁> 31 年度は、要件定義書作成、仕様書作成の経過を経て、3 市共同のプロポーザルで事業者選定を行う。32 年度にシステム構築、環境整備、データ移行の準備、33 年度後半頃からの運用開始を目指す。(総合政策部長)

立川市自治会応援条例が制定されました！

近年、急速な少子高齢化、価値観及び生活形態の多様化等の影響で、自治会に加入する市民の方が減少し、地域でのコミュニケーションの希薄化が見られます。一方で、近年発生している大災害を契機として、地域の絆が見直されており、人と人とのつながりの重要性に対する認識が高まっています。

街路灯及び公園の園内灯を一括してLED化へ！

2月22日の本会議で、清水市長は「街路灯及び園内灯のLED化事業に取り組み、電気料や維持管理費の削減を図る」と表明しました。明年夏ごろまでの工事完了を目指します。これまで公明党立川市議団として、また私自身も定例会や予算要望を通じて早期LED化を訴え、昨春には公明党立川総支部として早期事業化の要望書を、市民の皆様の約1万8千筆の署名とともに市長へ提出していたものが実現します。



高齢者あんしん見守り支援事業が始まります



もしもの緊急事態に備えて、予め登録した別居所にいる家族や友人・知人等に知らせる機器を設置する費用の一部を市が助成（※月額是自己負担）します。市には現在、高齢者緊急通報システム事業等がありますが、脳、心臓、呼吸器等の慢性疾患があることが条件とされています。本事業では、この条件は無くなります。

私たち公明党は、対象者の拡充を訴えていたものです。詳細は市ホームページ、または高齢福祉課へお問い合わせください。523-2111 内線1475

移動支援事業の通学利用が拡充されます

市では、地域における自立生活及び社会参加を促すことを目的に、屋外での移動が困難な障がい者（児）にガイドヘルパーを派遣して外出のための支援を行っています。これまで通学には、保護者が入院・出産等のために送迎できない場合のみ特例で認められていました。4月から入院でなくとも病気等で送迎できない場合に移動支援が受けられるようになります。私たち公明党は、通学利用を強く訴えてきましたが、更なる拡充を目指します。



皆様の声で実現しました！



砂川町8丁目地域に“側溝・グレーチング”が整備されました



砂川町7丁目地域に”歩きタバコ禁止 ポイ捨て禁止”路面シートが設置されました

山口なつお

公明党 参院選東京選挙区予定候補



小さな声を、
聴く力。公明党



公明党は2018年7月2日、中央幹事会で、今夏の第25回参院議員通常選挙へ向け、東京選挙区に山口なつお党代表を公認決定しました。

プロフィール

党代表、同東京都本部。同政務調査会長など歴任。元防衛政務次官。元参院行政監視委員長。弁護士。東京大学法学部卒。参院議員3期。衆院当選2回茨城県生まれ。66歳

ごみのロール式指定収集袋の「切離しセット」が販売されます

市は、手指に障がいを持たれる方に対する合理的配慮を図るため、ロール式指定収集袋の「切離しセット」の販売を福祉関連施設で開始します。販売対象者については、基準が定められる予定ですが、私は、平成30年第1回定例会の一般質問に於いて、訴えていたものです。

- 10枚1セット
- 燃やせるごみ、燃やせないごみ
- 全てのサイズ(5L・10L・20L・40L)



SNS等で、日々の活動の様などを情報発信しています。是非ご覧ください!



facebook



twitter



LINE



Ameba



身近な法律相談を実施しています

《公明党無料法律相談》

- ・ 毎週水曜日（第5週を除く）14時から
- ・ 立川市錦町 1-4-4 立川サ-ハイツ 301
- * 予約制です。詳細は高口やすひこまで



「高口やすひこ」まで何でもお気軽にご相談下さい!

◆市議会議員 議会改革特別委員会副委員長 環境建設委員会委員

高口やすひこ励ます会 発行